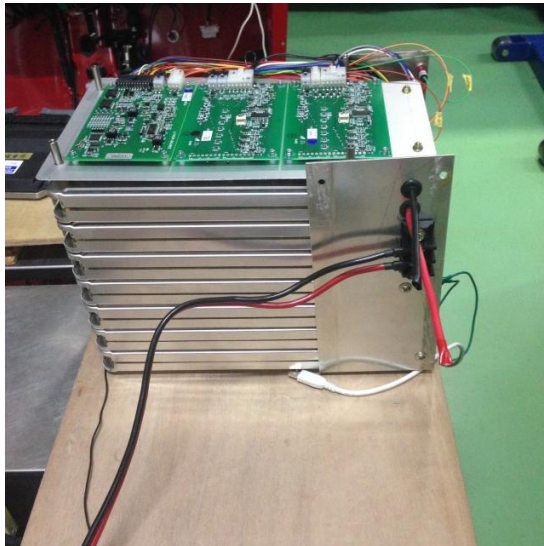


- 電力会社様向け
(パック取り外し)



AESC製
7モジュール
65Ah、53V
BMS; リチウムバランス

- 電動車両向け
(試作品)



未来エネルギーラボ試作品
4セル
31Ah、15V
BMS搭載なし

- 電設会社様向け
(試作品)



東芝製SCiB
2モジュール
45Ah、60V
BMS; 東芝

- 通信会社向け
(試作品)



AESC製
4モジュール
2kWh、出力1.5kW/DC
BMS;リチウムバランス

2018年3月22日

電気自動車「日産リーフ」の中古バッテリーを再利用した 外灯を福島県浪江町に設置 - 国内初のプロジェクト「THE REBORN LIGHT」-

福島県浪江町(以下:浪江町、町長:馬場 有)、日産自動車株式会社(以下:日産、本社:神奈川県横浜市西区、社長:西川 廣人)と日産の関連会社のフォーアールエナジー株式会社(以下:4R、本社:神奈川県横浜市西区、社長: 牧野 英治)は、22日、電気自動車「日産リーフ」の使用済バッテリーを再利用し製作した、「外灯」を設置するプロジェクト、「THE REBORN LIGHT」を発表しました。

現在、自動車を取り巻く環境は、日本は勿論、世界的にも本格的なEVへの時代にシフトしています。その変化の過程には、近い将来、バッテリーの多量生産、多量廃棄という問題に直面することが予想されます。そこで、東日本大震災からの復興に向けて新しいインフラを必要とする浪江町は、日産と4Rの協力の元、「日産リーフ」の中古バッテリーを再利用するプロジェクトを開始します。

今回、日産と4Rは、ソーラーパネルの発電と「日産リーフ」の中古バッテリーを組み合わせることによって、電線やコンセントを全く必要としない、完全オフグリッドで点灯する外灯の製作を実現しました。そして浪江町は、これを、外灯を必要とする町内各所に設置するプロジェクト、「THE REBORN LIGHT」を実施します。

「THE REBORN LIGHT」は、震災からの復興を進める浪江の町に灯りをもたらし、町民の方々の生活を支援します。

浪江町と日産、4Rは、この「THE REBORN LIGHT」プロジェクトを発端に、今後の浪江町の更なる活性化と新たな産業の誕生を期待します。

「THE REBORN LIGHT」は、3月26日、福島県浪江町に開所する4Rのバッテリー再生工場において、まず、試作機を試験点灯し、その後2018年度に、順次設置していく予定です。



試作品

4Rエネルギー リユースバッテリー
4モジュール

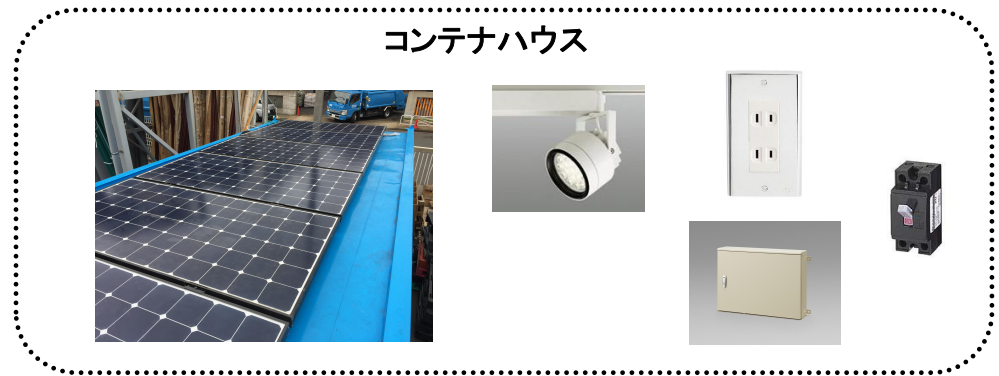


量産化イメージ

●太陽光発電パネル付き 電動三輪電気自動車



●災害用コンテナハウス & 非常用電源供給車

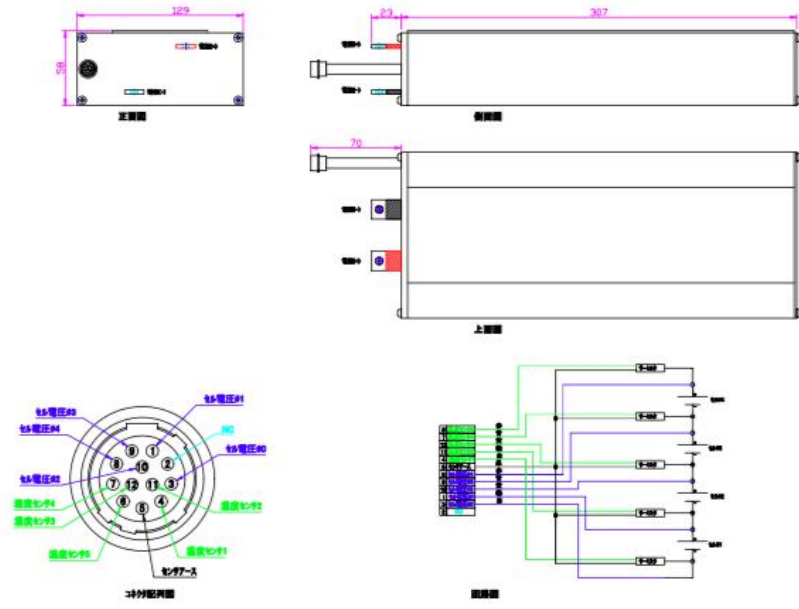


充電

給電



非常用バッテリー搭載電源供給車



セル構成	4Sセル 高容量
定格充電電流	25A
定格放電電流	25A
定格入出力電圧	15V
内蔵蓄電池電圧	3.8V×4S
蓄電容量	25Ah
冷却方式	自然空冷
外形寸法 mm	129×305×56
質量	約 3.6kg

2モジュールタイプ ポータブルバッテリー (試作品)



正面



背面



上面



AC100Vコンセント



AC充電アダプター

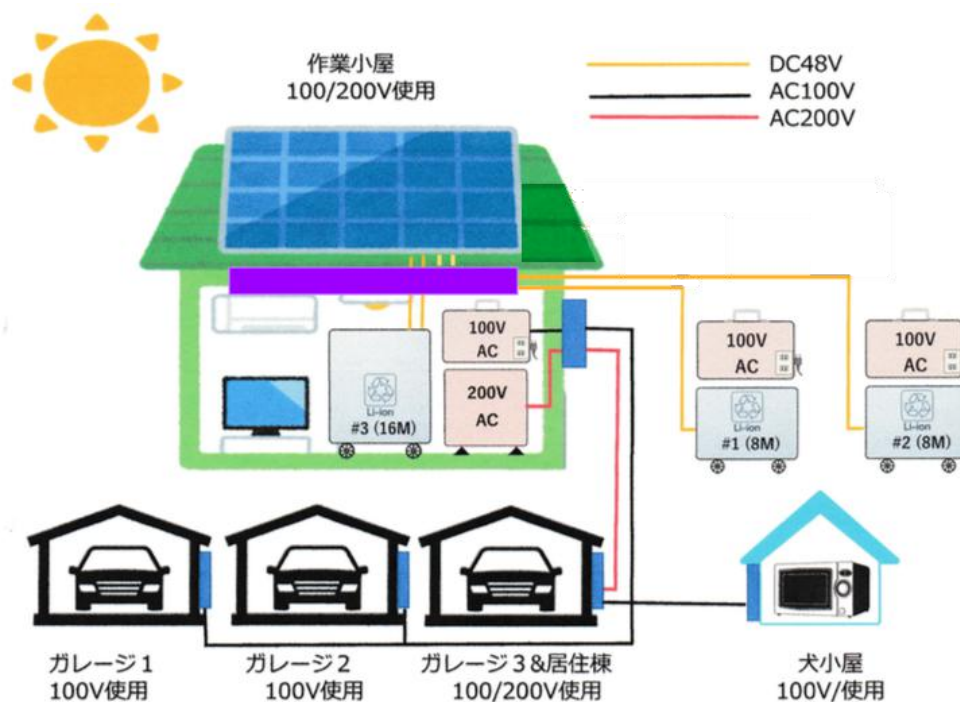


表示部

【主要諸元】(目標値)

	2モジュール タイプ	4モジュール タイプ
バッテリー容量	約 600Wh	約1200WH
合計最大出力	Max1500W	Max1500W
パソコン (30W)	約14時間	約28時間
液晶テレビ (60W)	約7時間	約14時間
LED室内灯 (10W)	約40時間	約80時間
重量	20Kg	28Kg
大きさ	460L*450H*315W	
入力	AC充電アダプター 100V 50-60Hz 12V シガライター	
出力	ACコンセント100V 3口	
充電時間	約4時間	約8時間

オフグリッドソーラーシステム（試作品）



ソーラーパネル



8モジュールパック



16モジュールパック